

中国地域ニュービジネス奨励賞

表彰事業

クラウド型遠隔医療診断支援システム「KOACAD」

株式会社 イノテック

代表取締役社長 伊藤 賢治



受賞理由

医師による読影で診断を行うため評価が難しいとされていた膝関節診断を、特許の画像処理技術でレントゲン写真から診断に必要な情報のみを抽出し測定するソフトウェア「KOACAD」を、東京大学と共同開発している。これまではレントゲン写真を見ながら、医師が経験則にて診断を行うためバラツキが大きいことが問題になっていたが、本診断支援システムを使用することにより同一のX線画像読影結果は一定になり、新たな治療法や予防法の効果判定にも利用できる。今後は、クラウド型遠隔医療診断支援システム構築のため、部位を膝だけでなく、脊椎・腰椎・股関節・手・足など整形外科で使用する全身のX線画像の診断支援をプラットフォーム化し、医師が利用したいソフトを選択することによって迅速な診断を行えるサービスへと進化させることにしている。他の生活習慣病に比べて遅れていると言われる変形性関節症の研究に大きく貢献することが期待されている。

ポイント

- ・変形性膝関節症のレントゲン上での全自動診断支援に、世界に先駆けて成功した東京大学の研究成果をもとに共同開発されていることから、信頼性が高い。
- ・レントゲン画像の定量化を可能としたことにより、バラツキが大きいと言われてきた医師の経験則に基づいた読影診断に代わる新しい技術となっている。
- ・膝だけでなく、全身の変形性関節症へと応用できる可能性を秘め、新しい予防法・治療法の開発にもつながる。

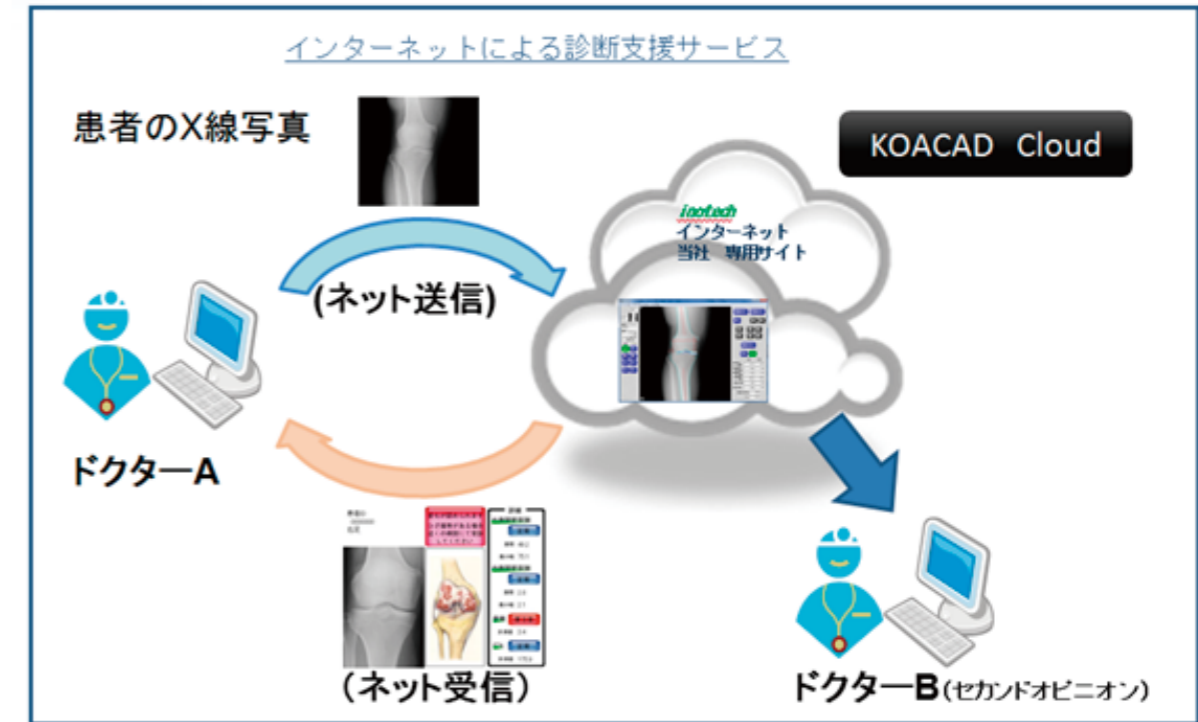
事業概要

これまで株式会社イノテックは、工業分野のユーザが90%を占め、企業の研究所・品質管理課・省庁関連への画像処理ソフトや寸法計測装置を販売する事業を行ってきた。また、大手メーカーとの製品共同開発やOEM供給を行っている。新規事業は、東京大学との共同開発のKOACAD(変形性膝関節診断支援ソフト)をはじめとし年内に膝のほか、脊椎計測ソフト・股関節計測ソフトの開発を行い、整形外科分野におけるクラウド型遠隔医療診断支援システムを構築する。

推薦団体 (株)広島銀行 大手町支店

会社所在地	〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目6-30		
T E L	082-544-0011	U R L	http://www.inotech.co.jp/
会社設立	平成8年7月	従業員数	8名(平成26年4月4日現在)
資本金	10百万円	売上高	100百万円(平成25年6月期)

「クラウド型遠隔医療診断支援システム」



遠隔地の診療所や専門医の居ない一般病院から、KOACADにて診断支援を別のドクターに読影依頼を行い、自動測定では安定した診断支援結果を得ることが可能なシステムです。



診断支援結果は、自動処理ボタン 1クリックで結果表示 特許取得番号(第 4934786号)